



# 7・12 ウポポイ 華やかに開業

初日は道内外の約2000人の来場者がアイヌ文化に触れる

新型コロナウイルスの影響で、2度にわたり開業が延期されていたアイヌ文化の復興拠点・ウポポイ（民族共生象徴空間）が7月12日、約2カ月半遅れで開業されました。初日はオープニングセレモニーが催され、関係者によるテープカットの後、カウントダウンを行い華々しい幕開けとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制による入場制限、さまざまな体験の休止―と誘客のハンデを負いながらも、初日は道内外の約2000人が訪れ、国立の新施設の内容に驚き、興味深げにアイヌ文化を学んでいました。開業前日の11日は政府主催の記念式典がポロト湖畔で盛大に催され、政府関係者や地元自治体、関係団体、経済界などの関係者らが開業を祝いました。

ウポポイは国が総事業費約200億円で整備。中核施設の国立アイヌ民族博物館は、国内5番目の国立博物館で、アイヌ文化の拠点として全国で初。このほか、体験交流ホールや体験学習館、工房、チセ（家屋）などの各施設が並び、先住民アイヌの歴史や文化を伝えます。ウポポイはアイヌ語で「大勢で歌うこと」



親子連れなどがスタッフの説明を受けながら貴重な資料群に見入っていました



入場者を笑顔で出迎えたTEAM NACSの戸次さん、森崎さん（ともにオフィシャルサポーター）、AKB Team8の坂口さん、俳優の宇梶さん（ともにPRアンバサダー）

## 開業記念式典



鈴木知事「アイヌの文化や歴史について正しく理解を深めてもらいたい。北海道の魅力を発信する大きなチャンス。オール北海道で大切に（ウポポイを）育てていきたい」

菅官房長官

「多くの人に体験してもらい、民族共生の理念に共感してもらえるようウポポイのPR、魅力向上に全力で取り組んでいく」



民族共生象徴空間(ウポポイ)